

第1回更改専門部会 議事要旨

1. 日時：令和元年8月8日（木） 14：00～15：00
2. 場所：ソリッドスクエア ホール（ソリッドスクエア地下1階）
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事の概要

（1）開会

○ NACCSセンターより、次のとおり、更改専門部会の設置根拠及び設置に至った経緯について説明を行った。

- ・ センターの内部規程である情報処理運営協議会運営規程において、専門部会は、情報処理運営協議会により設置されるものであることが規定されている。
- ・ 平成31年3月8日に開催された第11回情報処理運営協議会にて、次期システムの仕様に関して、官民利用者により検討を行うための専門部会を設置し、またその下に必要なワーキング・グループ（以下、WG）を設置すること等が了承された。

（2）部会長選出

○更改専門部会の部会長に、東京税関鈴木総務部長が選出された。

（3）取締役挨拶

○ センター徳取締役より、更改専門部会開催にあたり、NACCSを巡る最近の動向や、次期NACCSの開発コンセプトについての説明、及び委嘱を受けて頂いた委員の皆様への謝意を述べた。

（4）NACCS の更改について

○ 事務局より、議事資料2に基づき、第6次NACCSに至る沿革（NACCS発展の歩み、NACCS を取り巻く環境）及び第7次NACCS 更改（開発コンセプト、専門部会の構成、スケジュール）についての説明を行った。

（5）更改専門部会における主な検討事項（案）

○ 事務局より、議事資料3に基づき、開発コンセプト及び利用者ニーズを踏ま

え、主な検討事項を提案し、また、専門部会等の開催日程と進め方についての説明を行った。

5. 意見交換の概要

▶B2Cの増加などの傾向を考えるとNACCS利用時の入力作業の負荷軽減や入力支援などを検討する必要があると考えるが、7次ではどの様に考えているのか。何らかの提案はあるのか。（委員）

⇒ パッケージソフト等における利用者の入力支援は、今後どのような技術が使えるかも含めて検討をすべきと認識している。また、画面やそこにどのような情報を入れていくのかなど、WG等を通じて検討し改善に繋げていきたい。（事務局）

▶JASTPROコードを持たない輸出入者の法人番号に紐づく英名補完は、利便性という観点からセンターで提供する等の検討は第7次更改の議論の中で行うのか。（委員）

⇒ 既に申告の際に法人番号を用いることはご承知おき頂いている通りである。弊社単独で進められる案件ではなく、利用者の皆様の利便性を下げないように、関係機関等と相談させて頂きながら、本部会等においてコストや利用に当たったの手間等も併せて検討し良い形を考えていきたい。（事務局）

▶添付ファイルの制限値の検討は第7次の更改のタイミングで検討するのか。あるいは現行（第6次）中での変更を考えているのか。（委員）

⇒ 制限値の拡大のニーズは多く頂いているが、ネットワークの大きさや各自社システムとの関係も含めて、第7次で検討していきたい。但し、影響の少ないものについては、現行の中でも考えていきたい。（事務局）

▶RPA等の最新技術の導入について具体的なイメージはあるのか。（委員）

⇒ 具体的で良い提案・示唆があれば頂けるとありがたい。技術の進展を注視しながら、どの様な技術がどういうところで一番活かせるのか、利用者のコストや利便性の向上等をも考慮しながら検討していきたい。（事務局）

▶周辺の貿易連携基盤との連携の可能性について、現在具体的に連携を想定する情報基盤はあるのか。また、その接続の時期は第7次更改のタイミングとマッチするのか。その場合、接続相手先とどのように連携していくのか。（委員）

⇒ 時代背景的にAPI公開等を通じて、相手先が誰という特定をせずに、全方位を見ながら柔軟な対応が出来る様システム的に考えていく必要があると考える。

それらとNACCSとの関係をどの様にしたら利用者の皆様が一番メリットを得られるのかを念頭に検討を進めていきたい。（事務局）

➤説明頂いた資料3の検討課題については、これで確定されるものか。今後追加できる機会はあるのか。（委員）

⇒ 今後のWGでの議論に応じ、追加していくべきものは適宜追加をしていく。（事務局）

➤10月以降のWGについて日程が決まっていれば前広に知らせて頂きたい。

（委員）

⇒ WG開催は、原則毎月第二週目の木曜日を予定している。なお、9月は12日に今回と同様に合同WGとしての開催となるが、10月以降については個別のWG毎の開催とし、第二週目の水、木など二日にわたっての開催を想定している。日程は出来るだけ早めに案内差し上げたいと考えている。（事務局）

以上